

2024 年 9 月 13 日

NIPPON EXPRESS ホールディングス株式会社

IR Day2024 主な質疑応答（要旨）

9 月 13 日(金)に動画配信および対面形式にて IR Day を実施しました。寄せられた質問と当社説明は下記の通りです。

【セッション 3_IT 戦略：IT 戦略(エンタープライズアーキテクチャ)

スピーカー：NXHD 代表取締役社長 堀切 智、常務執行役員 大槻 秀史

執行役員 國谷 武史】

Q1. データプールやデータレイクという観点から、どのようなデータを抽出すべきか、ターゲットの絞り込みができていないかを知りたい。これまでのシステム利用において、多くのデータ蓄積があると理解しているが、それらが適切にデータベース化され、必要なデータを迅速に取り出して KPI として活用できるかについて、どのように考えているか教えてほしい。

A1. データプールである NX データステーションは、現在成長過程にある。現状、過去のデータを含めて、需要のあるデータをプールすることから開始している。データの精緻化、構造化、データカタログの整備を進めているが、データマネジメントも重要な要素であり、特に顧客行動に関しては、会社全体で統合して使用する予定としている。

Q2. 資料 P5 はありたい姿を示されているが、NX のビジネスフローを考える際に、調達についても連携させる必要はないのか。CargoWise や SAP との連携も必要と認識しているが、これらのシステムがシームレスに連携するタイムラインについての見解を伺いたい。

A2. 調達の領域についても検討しており、陸海空のモードを越えた作業戦力の見える化や適正化を進めている。この取り組みの目的は、物流コストの削減と効率化である。CargoWise 導入に関しては、SAP との連携が重要であり、2028 年を最終目標とする 5 年のタイムラインで進めている。地域別にフェーズを分けて導入し、最終的には 2028 年頃にシームレスな連携の実現を目指している。

Q3. 社外取締役のスキルマトリックスの中に、IT スキルを今後入れる予定はあるか。大きな費用が発生する IT 開発の進捗確認が出来る外部アドバイザーの招聘等、具体的な考えがあれば、教えてほしい。

A3. 現在の社外取締役のスキルマトリックスには、IT スキルの項目は入れていない。機関

変更を行った初年度であり、今後のガバナンス体制において IT スキルを持った人材を招聘するかどうかは検討課題としたい。執行サイドでは IT 人材拡充等の観点から、國谷氏を高度人材として社外から招聘した。こうした取組み等を通じて、執行サイドの人員が充実していくなかで、ガバナンスの観点で IT 人材を入れるかどうかは次の検討課題である。

Q4. 全体のプラットフォームがつながることで、調達を含むバリューチェーン全体が連携し、部門ごとに全体最適の判断が可能になると考えている。バリューチェーン全体をデータでつなぎ、収益のボトルネックを把握できなければ、収益が 4% 以下だからといって店所や拠点を閉鎖する判断はできないと思う。これを支える IT の構築が日本の強靱化には必要であり、投資家も期待している。5 年の時間軸で 2028 年までに実現するのか、いつから使える状態になるのか、適正な判断ができるようになるのかを知りたい。

A4. 現在、各事業のフロントシステムが 10 以上存在する。各事業で独自システムを持っているが、航空・海運は CargoWise を導入予定である。フロントシステムは主に売上や売掛金、顧客データを管理しているが、オペレーションデータは SAP や CargoWise で管理する必要がある。フロントシステムのデータとオペレーションデータを連携させることで、顧客別収支を把握したいと考えているが、実現に向けては時間を要する。現在、課所別の収支実績による簡易版の大手顧客別収支のデータを収集、整理している状況にある。

以 上